626 軽金属 61 (2011. 11)

若手の会・女性会員の会

「女性会員の会」活動記録

The women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

関 史江*
Fumie SEKI*

設立の経緯:

2006年5月31日,関東支部運営委員会で(茂木徹一 関東支部長)「女性会員相互の情報交換の場」作りが提案され、支部運営委員会で検討を行い,第111回秋期大会(芝浦工業大学)中に,関東支部主催の第1回「(仮称)女性会員の会」開催を決定しました。軽金属学会では女性会員数が少なく、その多くが関東支部に所属していたために,関東支部から議案が提出されました。第1回会合を開催したところ,参加者が18名と予想を大きく上回ったことと,会合終了時に,次の開催希望が多く出たことから,第2回目「(仮称)女性会員の会」を,第112回春期大会(富山国際会議場)で開きました。

これら春秋大会での会合を元に、伊藤吾朗 大会運営会議議長から、学会の発展と後継者養成ならびに軽金属全般に対する研究の活性化のため、女性会員の活動を活発化する必要があるとして、「女性会員による、女性会員同士の親睦交流のための(すべての軽金属学会員を含め)活動を活発化することを目的とする「(仮称)女性会員の会」を創設する」ことを発案いただきました。学会内の議論・検討を経て、2007年に理事会(吉原正照 軽金属学会会長(当時))で承認され「女性会員の会」は、学会の正式組織となりました。本会は講演大会中に連続開催し、第120回春期大会(名古屋大学)で第10回を数えました。

「女性会員の会」設立目的:

女性会員相互の交流と情報交換の場を作ることにより,貴 重な体験と情報を共有し,お互いに支え合い,学会全体の活 性化と発展に寄与することを目的とする。

メンバー:

軽金属学会の女性正会員,留学生を含む女子学生会員,および以前に軽金属学会に所属した女性正会員,女子学生会員,さらに女性会員の会を支援する軽金属学会正会員を対象者とする。

世話人は、会員の中から互選により選出する。

活動方針、および検討・実施事項:

会の組織運営を確立するために、春秋大会時に「女性会員 の会」を開催し、女性会員全体で自由に意見を出し合いなが ら、その方向性を見出すこととする。

- 1) 会則を作る。
- 2) メンバーの自主運営とし、活動記録・実施項目・提案等は、年に2度の大会運営委員会に報告する。

話合項目:

- 3) 女性研究者・技術者の仕事・職場・ライフバランスなど に関する相互の情報提供
- 4) 国内の他学会,協会団体の動向調査
- 5) 各支部, 他学会, および国際交流をも含めた女性研究者 の会と連帯する
- 6) その他「女性会員の会」運営上必要なこと

予算

年間の活動資金は、若手の会と同額。

活動内容:

軽金属を共通語として、女性と男性、学生と社会人、同業種と異業種という様々な立場の方の集まる交流の場、情報交換の場と考えて、必ず簡単な自己紹介を通して親睦を図っています。これまで本会で提案・検討した主な事項は、LMコラム投稿、「軽金属女性未来賞」、「学会託児室設置」の3点です。

1番目,軽金属学会では,先輩としての女性正会員が少なく,女子学生が研究職・技術職として就職した後,自分の生活がどのように変わるのか,仕事内容,職場の様子,日々の生活等を想像できないとの意見が,「(仮称)女性会員の会」で出たので,それらに答えるため,女性正会員が自分たちの生活や,仕事,趣味などを紹介する場として,LMコラムへの投稿を決めました。

これまでにLMコラムに投稿した方々は、鳥居麗子さん、芹沢 愛さん、上田 薫さん、渡辺睦子さんです。今後も、女性会員紹介を続け、将来の軽金属業界を支える女性研究者・技術者の卵である女子学生達を支援したいと考えています。

2番目,「軽金属女性未来賞」は,軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ,将来の活躍が期待される新進気鋭の女性研究者または女性技術者に贈るものです。学協会が直接,若手女性を讃える賞は,日本ではこれまでに存在せず,本賞が初めての賞となりました。2009年11月,本賞の創設を大変誇らしく思うとともに,45歳以下の若手女性研究者・技術者達は,賞の期待に沿えるような価値ある研究・技術に尽力したいと考えはじめています。この賞は,女性会員の会の重要な成果の一つと言えます。

これまでの受賞者:

第1回「軽金属女性未来賞」(2009年)鈴木真由美さん(東北大学)と鳥居麗子さん(三菱アルミニウム(㈱) 第2回「軽金属女性未来賞」(2010年)上田 薫さん(住友 軽金属工業㈱) J. JILM 61 (2011, 11) 627



第1回「(仮称) 女性会員の会」(関東支部特別行事) 第111回秋期大会(名古屋大学)2006年11月19日 (参加者 計18名)

話題:自己紹介,研究・仕事と家庭生活



第2回「(仮称) 女性会員の会」関東支部特別行事 第112回春期大会(富山大学)2007年5月12日 (参加者 計15名)

話題:自己紹介、研究・仕事と家庭生活



第3回「女性会員の会」学会正式組織として理事会 で承認

第 113 回秋期大会(千葉大学)2007 年 11 月 11 日 (参加者 女性 14 名 応援会員 5 名 合計 19 名) 話題:自己紹介,研究・仕事と家庭生活



第4回「女性会員の会」

第 114 回春期大会(愛媛大学) 2008 年 5 月 10 日 (参加者 女性 8 名 応援会員 3 名 合計 11 名)

話題:自己紹介,研究・仕事と家庭生活 提案1:女性正会員,学会報コラムへの投稿

提案2:話題提供者を立てる



第5回「女性会員の会」

第 115 回秋期大会(工学院大学) 2008 年 11 月 14 日 (参加者 女性 18 名 応援会員 4 名 合計 22 名)

話題:自己紹介 + 研究・仕事と家庭生活 話題提供:芹澤 愛先生(東京工業大学)

「カナダでの研究生活」

検討:若手女性への「賞」について 翌15日,第1回「若手の会との合同会合」



第6回「女性会員の会」 第116回春期大会(登別)2009年5月21日 (参加者 女性9名 応援会員4名 合計13名) 話題:自己紹介,研究・仕事と家庭生活



第7回「女性会員の会」

第 117 回秋期大会(電気通信大学) 2009 年 11 月 14 日 (参加者 女性 25 名 応援会員 4 名 合計 29 名)

話題:自己紹介 + 研究・仕事と家庭生活 話題提供:「企業紹介・職場紹介・仕事紹介」 鳥居麗子さん(三菱アルミニウム㈱)

齊藤由佳さん(トピー工業㈱)

628 軽金属 61 (2011. 11)



第8回「女性会員の会」

第 118 回春期大会(関西大学)2010 年 5 月 22 日 (参加者 女性 10 名 応援会員 5 名 合計 15 名)

話題:自己紹介 + 研究・仕事と家庭生活 話題提供:小原美良さん(㈱カサタニ)

「在宅勤務について」

提案: 学会託児室の設置について



第9回「女性会員の会」 第119回秋期大会(長岡技術科学大学)2010年11月 13日

(参加者 女性13名 応援会員5名 合計18名)

話題:自己紹介 + 研究・仕事と家庭生活 話題提供:上田薫さん(住友軽金属工業㈱)

「研究所の1日紹介|

検討:学会託児室の設置について

翌14日,第2回「若手の会との合同会合」

3番目、「学会託児室設置」が第120回春期大会(名古屋大学)中、2011年5月21日、22日、2日間試行されました。第118回春期大会の会合時、講演大会が土日に開かれるので、小さい子供を抱える親は、学会託児室があると講演大会に参加しやすい、との要請がありました。第119回秋期大会中、若手の会との合同会合で、学会託児室設置についての意見を聞き、議論を重ね、「軽金属学会にも学会託児室を!」が若手研究者・技術者に共通の要望であることを確認しまし





第10回「女性会員の会」

第 120 回春期大会(名古屋大学)2011 年 5 月 21 日 (参加者 女性 25 名 応援会員 6 名 合計 31 名)

話題:自己紹介 + 研究・仕事と家庭生活 話題: 講演大会中の学会託児室設置について 話行: 学会託児室設置 2011 年 5 月 21 日, 22 日

(利用希望者,6名 実際の利用者 5名)

た。施行された 2011 年 5 月の第 1 回の学会託児室には、0 歳 児から小学 1 年生まで、延べ 6 名の利用申込みがありました。 名古屋大学の教室を用いた託児室では、2 名のベテランシッターさんと、シッター社が用意したおもちゃで遊んだり、晴れ間を縫って散歩に出かけたりと、子供たちも飽きることなく、安全かつ元気に楽しく過ごすことができました。この学会託児室は、女性会員の会メンバーだけでなく、多くの学会関係者にも見学いただきました。利用者や見学者の貴重なご意見・ご感想は、今後に反映していきたいと考えています。

念願の学会託児室設置が試行された,第10回目から,本会は大きな次への一歩を踏み出したと感じました。本会の当初の目的である「女性会員相互の交流と情報交換の場を作ることにより,貴重な体験と情報を共有し,お互いに支え合い,学会全体の活性化と発展に寄与すること」の一部を達成できたと言えそうです。今後も,大きく開かれた軽金属「女性会員の会」をめざしますので,建設的なご意見・ご提案をいただけましたら幸いです。

「女性会員の会」連絡先: keikin.jyosei@gmail.com